

▶会社の概要や特徴

当社は和歌山を基盤に、近畿圏内の工事に対応できる建設会社です。

建設工事とは別に設計部・運輸部・建材部・砕石事業部・試験部・不動産事業部、グループ会社で一般廃棄物処理・産業廃棄物処理・残土処分を行っており、頼まれごとは試されごと「なんでもできます！」が合言葉の会社です。

▶取り組んだ理由きっかけ

働き方を改革することにより、昔ながらの「家族より仕事！」ではなく、プライベートの充実を優先し、従業員の人生を豊かにするため、そして従業員の家族から応援してもらう会社組織を目指すため、これが週休2日に取り組んだきっかけです。

▶実現による効果など

弊社は若年層の従業員も多々おり、働き方改革に取り組む前は従業員の遅刻や欠勤が目立っていました。改革後はそれぞれの意識改革もあり、遅刻や欠勤などがなくなり、きちんと予定を組めるようになった為、生産性の向上に繋がりました。

あと、新規採用や中途採用の大幅な増加にも繋がりました。改革に取り組む前の従業員は20名程度でしたが、取り組んでからは2年で45名まで増え、事務所を大きくしなければならなかったのが、増築のきっかけにもなりました。

対外的に、私たちは完全週休2日制です！事務所はここにありません！と胸を張って話せることで、社会的信用を得られやすく、仕事の受注にも大きく繋がったと感じます。

▶4週8休実現へのプロセス

- ・週休2日制度へ取り組むことへの、従業員の理解活動。
- ・原則、毎週土日を固定の休みとする。
- ・日給月給の従業員を完全月給制に統一する。
- ・年間カレンダーの適正化(指定有給日含む)を図る。
- ・業務の効率化。

▶実現に向けた様々な課題とその克服方法

一番の課題は、週休2日に取り組むことに対して従業員からの理解を得ることでした。実現に向けて、全従業員に対してみんなまとめて説明するのではなく、個人面談を行い約4か月かけて1人ずつ何度も意見交換をしました。やはり、一番気になることは全従業員同じで、休みが増えると給与は下がるのでは、という不安が大きかったですが「休みは増えるが給与は下げない」「会社の負担を大きくする」このことで、全従業員の理解を得られました。ただそれだけでは会社が成長しません、なので休みが増える分、生産性の向上、業務の効率化、目標値の設定などを一緒に頑張ってもらおうよう協力してもらいました。結果、利益率の向上に繋がりがり、その分設備や人件費に投資でき、相乗効果にもなりました。

▶独自の取組や工夫されてる点

仕事量の確保は必然なので、技術者を増やすため毎週木曜日大会議室で自由参加の勉強会を行っております。取組1年目で技術者が8名増えました。勉強会を通して従業員の意識の向上にもなり、大幅な生産性の向上、業務効率化につながりました。